ミセス

1

January 2014 No.709
新年特大号

昭和37年3月15日第三種郵便物認可
2013年12月7日発行・発売（毎月7日発行・発売）
ミセス通巻第709号

煎茶●
小川可樂家元嗣

きもの●
鶴田真由さん母娘

家族写真●
コシノジュンコさん一家

おせち●
ホルトハウス房子さん、
後藤加寿子さん ほか

歌舞伎●
中村福助さん

祝う、装う、飾る、贈る、集う、観る

お正月100の楽しみ

ファッション特集●まだ年齢が気になりますか？

SHIHOさん、清原亜希さん、山口遊子さん、前田美波里さん

"ほっそり、すっきり"見えるワンピース

満島ひかりさんと伊勢へ／伊賀、松阪

この男子に注目！岡田准一、松坂桃李、福士蒼汰

特別付録●稲葉賀惠さんデザインオリジナル手帳

ユキ・パリスの見る目・選ぶ目㉒

墨色のアート

辻村史朗の書

Shiro Tsujimura's ink art

色を何層も重ね、削り落とすこともある油絵の肉厚で多彩な表現。この油絵に長年慣れ親しみながらも、私は墨の作品にも非常に心惹かれてきました。粘りない墨の特質を生かして濃淡やかすれ、にじみやぼかしなどで表現される無彩色の世界。書ならば、書いた人の内面や精神性まで隠さず見せてしまうことも多々あります。そして、いつの頃からか私は能書家の書や書法云々の書、高僧の墨跡より、和室や洋室、日本や外国、どこに掛けてもよくなじみ、多くの人の心に響いてくれる現代の書を見たい、掛けたいという気持ちが膨らんでいました。そんな中で最終日の閉廊間近に馳せ参じ、拝見したのが、海外でも陶芸でよく知られる辻村史朗氏の書でした。安定感ある横長の額に入った字は「山」や「土」や「石」や「日」など、どれも皆が知っている大自然の根源です。そして「山河」の書のみなぎる力強さは、個人の感傷的なふるさとの山河ではなく、雄大で不動な万人の大地の山河を思わせてくれます。また、様々な山の字がいくつも並ぶ書も、重なり連なり、かすむ山々の光景を字で描かれた絵のようにストレートに伝えてくれます。現代の水墨画とも呼べる趣の作品です。私の探していた現代の書がそこにあるように思え、後日、世界の多くの辻村ファンが奈良の奥山に訪ねゆく同じ道を私もたどりました。林や森や山、視界すべてが緑という辻村氏の住まいと創作現場。そこで書のアトリエにもお邪魔しました。そして、「雪」の書の作品を制作されるところを拝見できました。

頭の中には紙面全体を見据えたあるイメージがあるのでしょう。たっぷりと墨を含んだ筆が、強弱、大小、様々な雪の字で紙面を迷いなく埋めていきます。ぼたん雪、細雪、粉雪、いろいろな雪が、近く、遠くに降りしきる光景が目に見えてきました。漢字の読めない外国人でも英字のタイトルを読めば作品を理解でき、その表現や構成に並々ならぬ独創性を感じ、感嘆、共感できるのでしょう。そんな作品「山河」を京都にある我が家のゲストハウスの、ドアを開けた正面、一番に目に入る場所に掛けました。　撮影・鈴木 心

左ページ　白いモダンな空間に掛けた「山河」。
大自然の力とあふれるような生命力を伝えてくれる揺るぎない山や河。
眺めているとその大きな力に抱かれ元気づけられ、鼓舞されるよう。
したたり飛び散る墨しぶきの勢いも鮮やかに残り、
筆運び、字の形や味、紙面への字の入れ方、全体の構成もさすが絶妙！

「自分の陶芸作品に箱書きをしなければならず、そんな必要から始めた書です」
辻村さん

「画家として創作活動をスタートされた辻村さん、字も絵のようでストレートに見る者に語りかけてくれます」
ユキさん